

シルバー
だより

金本屏

題字

金沢市名誉市民 江川 昇書



40周年
記念号

鼠多門

広報部 宮次 撮影

金沢市S.C ぎんちゃん

公益社団法人 金沢市シルバー人材センター



平成 12 年 10 月 制定

ごあいさつ



公益社団法人
金沢市シルバー人材センター
理事長 **桶川 秀志**

公益社団法人金沢市シルバー人材センターが設立40周年を迎えました。

本来なら多くの関係者の方々の列席のもと、盛大に記念式典を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスによる未曾有の事態のため、残念ながら中止させていただきました。

昭和55年10月に470名の会員をもって発足しました当センターは、現在では約2,000名の会員数となり、就業する業務も大きく拡大し、市民生活や地域社会に身近な存在として順調な発展を遂げてまいりました。

これまで、当センターの事業にご尽力されました役職員及び会員の皆様、また多大なご支援をいただいております金沢市はじめ関係機関、賛助会員の皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、シルバー人材センターが誕生した頃は、65歳以上の高齢者は10人に1人の割合でしたが、今では4人に1人となり、20年後には3人に1人と見込まれています。

こうした超高齢化社会において、高齢者の就業・社会参加を通じて生きがいの充実と地域への貢献を使命とするシルバー人材センターに対する期待と役割はますます大きくなっています。

この40周年の節目を契機に、会員、役員、事務局の連携をより強化し、「人生100年時代を支えるシルバー人材センター」の実現を目指してまいります。

今後とも、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

設立40周年を祝して



金沢市長
山野 之義

公益社団法人金沢市シルバー人材センター設立40周年、誠におめでとうございます。

貴センターは、昭和55年の設立より今日まで、高齢者の就業機会の確保とその能力を生かした多様な社会参加活動の支援に、多大な貢献をされてこられました。これもひとえに、会員の皆さまお一人お一人が、誠心誠意活動に取り組み、着実にその実績を積み重ねてこられたことはもとより、歴代の理事長はじめ関係各位のご尽力の賜物と、深く敬意と感謝を表する次第です。

さて、貴センターが設立された当時より、既に高齢化社会への道を辿っていた我が国は、現在、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が世界最高となりました。人生100年時代を迎えた今、長い人生をいかに健康で、しかも生きがいや喜びをもって過ごしていけるかが、大きな課題のひとつであります。本市がめざす「世界の交流拠点都市金沢」の実現に向けても、高齢者の皆様が、その豊富な知識と貴重な経験を生かし、地域・社会において、生き活きと活躍できる環境づくりが何よりも大切ではないかと考えております。

このような中、高齢者の生きがいとして、多様な働き方に応じた雇用の受け皿を提供するシルバー人材センターの役割は、今後さらに大きくなるものと思っており、本市としましても、引き続き、貴センターと連携・協力を図りながら、高齢者の就業機会の拡大や社会参加の促進を一層図って参りたいと考えております。

結びに、40周年を機に、貴センターがますます発展され、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進と活力ある地域社会づくりに一層貢献されますようご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

金沢市シルバー人材センターの沿革

昭和55年 9月 1日

社団法人金沢市シルバー人材センター設立準備事務局開設
(金沢市勤労青少年ホーム内：本多町3丁目)

昭和55年 9月29日

社団法人金沢市シルバー人材センター設立総会 (金沢市観光会館)



昭和55年10月11日

「社団法人金沢市シルバー人材センター」設立 (法人登記)
(事務局：本多町3-2-26)

昭和56年 7月 1日

「シルバーだより」創刊
(昭和58年4月発行から「金木犀」)



▲「シルバーだより」創刊



▲本多町事務局



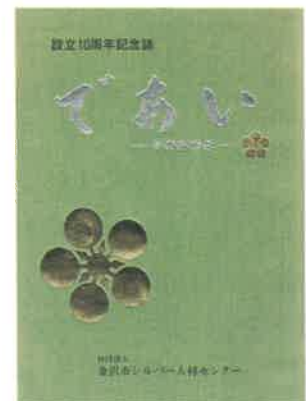
▲旧松ヶ枝町小学校事務所

平成 元年 9月

金沢市シルバー人材センター
旧松ヶ枝町小学校へ事務所移転

平成 2年10月

創立10周年記念式典開催 (石川県文教会館)



平成 5年 4月

コーディネーター職員を配置し福祉・家事援助サービス事業を拡充

平成 5 年 7 月

長土堀交流館（旧長土堀小学校）へ事務所移転



▲長土堀事務所



▲ベビーシッター事業

平成 6 年 4 月
平成 7 年 4 月
平成 7 年 7 月
平成 7 年 10 月

基本計画（1次：～平成 15 年度）策定
女性委員会を設置
女性会員の就業開拓としてベビーシッター事業を開始
創立 15 周年記念式典開催（石川県文教会館）



平成 12 年 10 月

創立 20 周年記念式典開催（金沢市文化ホール）



平成 12 年 10 月
平成 13 年 12 月
平成 16 年 4 月
平成 17 年 6 月

ワークプラザ（生きがい工房 此花）開設
ラク楽さーびす事業を開始
「第 2 次中長期計画（H16～H25 年度）」策定
介護保険事業を開始（～30 年度まで）
（介護保険制度の開始：平成 12 年 4 月）

平成17年10月

創立25周年記念式典開催（金沢市文化ホール）



平成18年 5月

会員互助会設立



▲H28.10 研修旅行、真田丸見学



▲H26. 3 スポーツフェスタ



▲H29. 1 新年会、山代温泉葉渡

平成19年10月

「シルバー友の会」発足

平成21年 1月

事業拡大プロジェクトを設置

平成21年 4月

国補助企画提案型事業（環境・教育）の開始

平成22年 4月

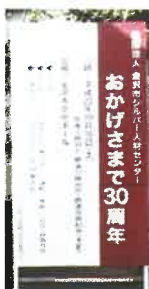
国補助企画提案型事業（介護）の開始

平成22年10月

創立30周年記念式典開催（金沢市文化ホール）



▲「シルバー友の会」発足



▲30周年記念式典



▲30周年記念事業

平成24年 4月 1日

平成24年 6月

「社団法人金沢市シルバー人材センター」から
「公益社団法人金沢市シルバー人材センター」へ移行
百万石祭り踊り流しに参加



▲H28.6 長土堀交流館前



▲H29.6 仲間とともに

平成24年10月

第1回シルバーフェスタ開催（普及啓発月間）



▲H26.10 新幹線



▲H27.10 カレー食堂



▲H29.10 フラフープ



▲H29.10 獅子舞

平成25年 4月

平成26年 4月

平成26年10月

平成29年 4月

平成29年 6月 5日

国補助企画提案型事業（山の灯り「里」サポート事業）の開始

「第3次中長期計画（H26～H30年度）」策定

生きがい工房此花でパソコン教室を開設

（H26～H28は国補助、H29～独自事業）

介護保険法改正により総合事業（「介護予防・日常生活支援総合事業」）を開始

新事務所移転（旧戸板公民館へ）

平成30年 4月

平成31年 3月

ゴールド会員制度スタート

「第4次中長期計画
（2019～2023年度）」策定

令和 2年 4月

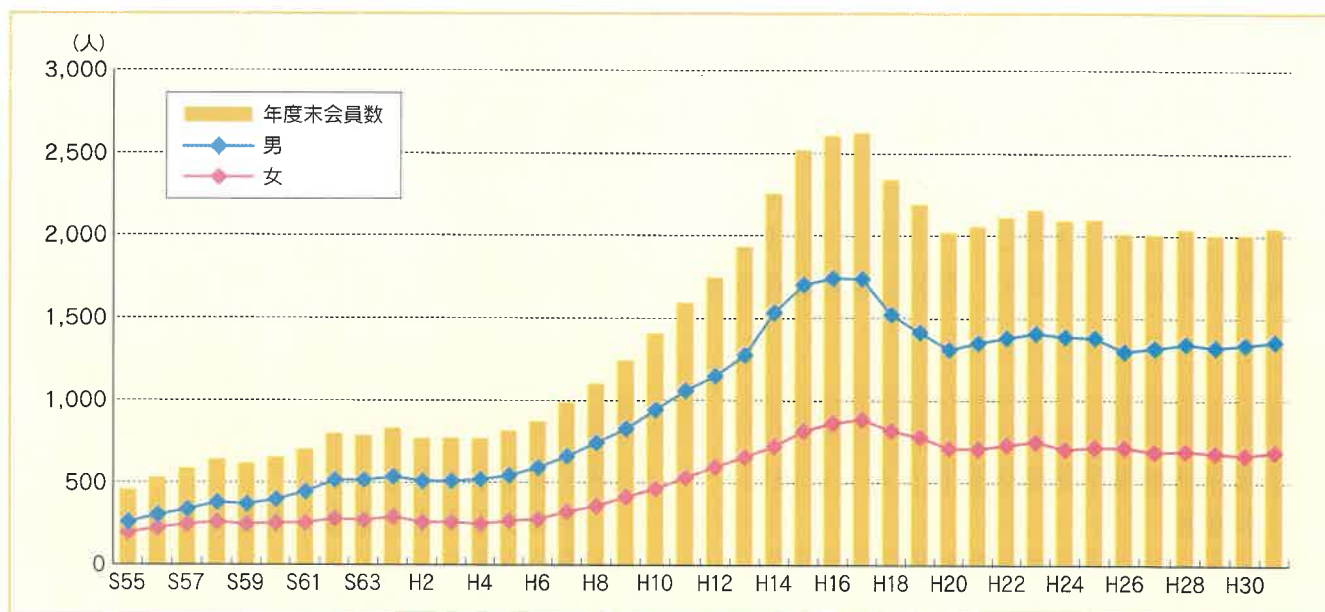
令和 2年10月

パソコン教室を現事務所に移設
創立40周年



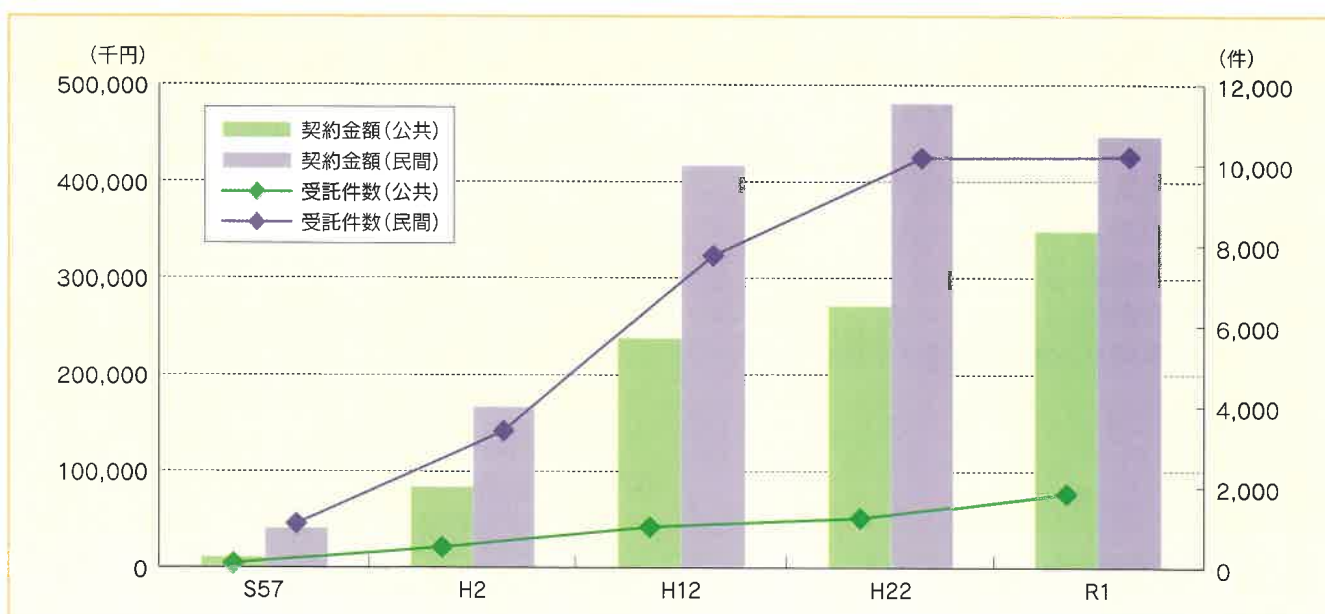
▲新事務所（旧戸板公民館）

金沢市シルバー人材センター会員数の変遷



設立40周年を迎えた金沢市シルバー人材センターは、昭和55年に設立され、当初会員470名でスタートしました。その後順調に会員数が伸び、2,000人を超え県内最大のセンターとなりました。しかし、平成16年の高齢者雇用安定法改正で65歳まで継続雇用となりシルバーの会員数は頭打ちとなりました。ここ数年の会員の平均年齢は徐々に高くなり、75歳以上は増加傾向、74歳以下は減少傾向にあります。この数年はゴールド会員制度や夫婦会員制度を設け、また女性対象入会説明会を実施し、会員数を増やす努力を続けています。

契約金額(千円)・受託件数(件)の変遷



契約金額は平成26年度から増加傾向にあり、平成29年度は公共・民間合わせて約8億円となりました。その中で派遣事業が特に大きく伸びております。受託件数は受託事業・一般労働者派遣事業ともに増加傾向にあります。会員の就業率は88%前後とほぼ横ばいになっております。さらに多くの会員に就業機会を確保すべく努力をしております。

これからの行動計画（第4次中期計画より抜粋）

基本方針 『人生100年時代を支えるシルバー人材センター』

人生100年時代を迎えつつある今日、年齢を重ねても生き生きとやりがいを持って働き続けることが出来る場を提供するとともに、会員相互や地域との交流の機会を創出することにより、会員一人ひとりの彩りある人生をサポートします。

金沢市シルバー人材センターの第4次中期計画では4つの重点目標を設けています。そのうち、「会員数の増加」と「安全・適正な就業環境の実現」について掲載します。

《会員数の増加》

- ①関係諸機関や地域と連携した入会施策の推進
 - ・テレビやラジオなどを通じてのPR
 - ・ハローワーク内の紹介コーナー設置
- ②インターネットを活用した入会促進
 - ・センターホームページの活用、市など関係機関のホームページへのリンク依頼
- ③女性会員の増強
 - ・女性限定入会説明会開催、女性委員会の研修等の活動を通し親睦を深める
- ④退職予定者への勧誘
 - ・企業・団体等の退職予定者に対し、セミナーの開催
- ⑤会員による獲得増強
 - ・新規会員就業に対し紹介キャンペーン、夫婦入会制度の促進
- ⑥退会会員の抑制
 - ・未就業会員に就業現場見学会の促進
 - ・長期就業かつセンター貢献会員の会費免除制度
- ⑦入会時の支援
 - ・入会手続きの負担軽減、入会時の負担軽減

《安全・適正な就業環境の実現》

- ①安全講習会の実施
 - ・危険予測訓練の定着、自動車の安全運転の講習
- ②安全パトロールの強化
 - ・就業先パトロールによる巡回指導
- ③安全用具の使用奨励と点検整備の徹底
 - ・安全防具や用具類の着用並びに使用と点検整備の徹底
- ④事故案件の周知及び安全意識の啓発
 - ・事故状況の分析及び指導による事故防止の徹底、安全就業標語の募集
- ⑤健康管理への呼びかけ
 - ・金木犀を通じて健康情報の発信、個人面談の実施、健康状態の確認
- ⑥安全就業強化月間の設定
 - ・7月を安全就業強化月間と定める
- ⑦衛生委員会の設置
 - ・法令に基づく衛生委員会の設置
- ⑧企業・団体への偽装請負防止の周知徹底
 - ・企業・団体を対象に偽装請負防止の呼びかけ
- ⑨偽装請負に関する講習会の実施
 - ・シルバー事業で取り扱うことのできる仕事の枠を逸脱した事例に関する講習会の実施
- ⑩適正な業務の受注拡大
 - ・指定管理業務の参画の検討

これらの事業の実施に当たっては、実施計画を立て、管理と評価を行っていきます。

また、PDCAサイクルを効果的に機能させながら、必要に応じて行動計画を見直して進めて行きます。